

第74期定時株主総会

オルバヘルスケアホールディングス株式会社

(証券コード：2689)



2023年6月期 連結業績

通期決算では売上高、営業利益、経常利益とも過去最高

| | 百万円 | 予算比 | 前期比 |
|-----------------|---------|-------|-------|
| 売上高 | 110,472 | +0.9% | +2.3% |
| 売上総利益 | 12,954 | +0.1% | +3.6% |
| 売上総利益率 | 11.73% | | |
| 販売管理費 | 10,803 | △1.2% | +3.6% |
| 営業利益 | 2,151 | +7.6% | +3.8% |
| 経常利益 | 2,158 | +8.0% | +1.8% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,414 | +8.0% | △7.9% |

1株当たり当期純利益
234.90円

当期純利益の減少要因

- ・ 前期の特別利益発生
- ・ 前期の法人税負担額減少による利益増
⇒ 前期利益増の反動減

■ 手術件数はおおむねコロナ前の水準まで回復

- ・ ワクチン接種率向上、病院での感染対策、5類感染症への変更など
- ・ コロナに関連する検査関連製品は安定した需要

■ 世界的なインフレ・円安で仕入価格上昇

- ・ 海外製品が多い医療機器の価格は上昇傾向
- ・ 営業活動拡大や仕入改善等の対策を実施
- ・ **販売価格への転嫁**も進み、**一定の利益水準を確保**

手術件数はコロナ前まで回復
消耗品売上高増加

事業ポートフォリオ



医療器材事業
医療現場のトータルパートナー



SNS



SPD事業 HOSNET
医材流通のスペシャリスト

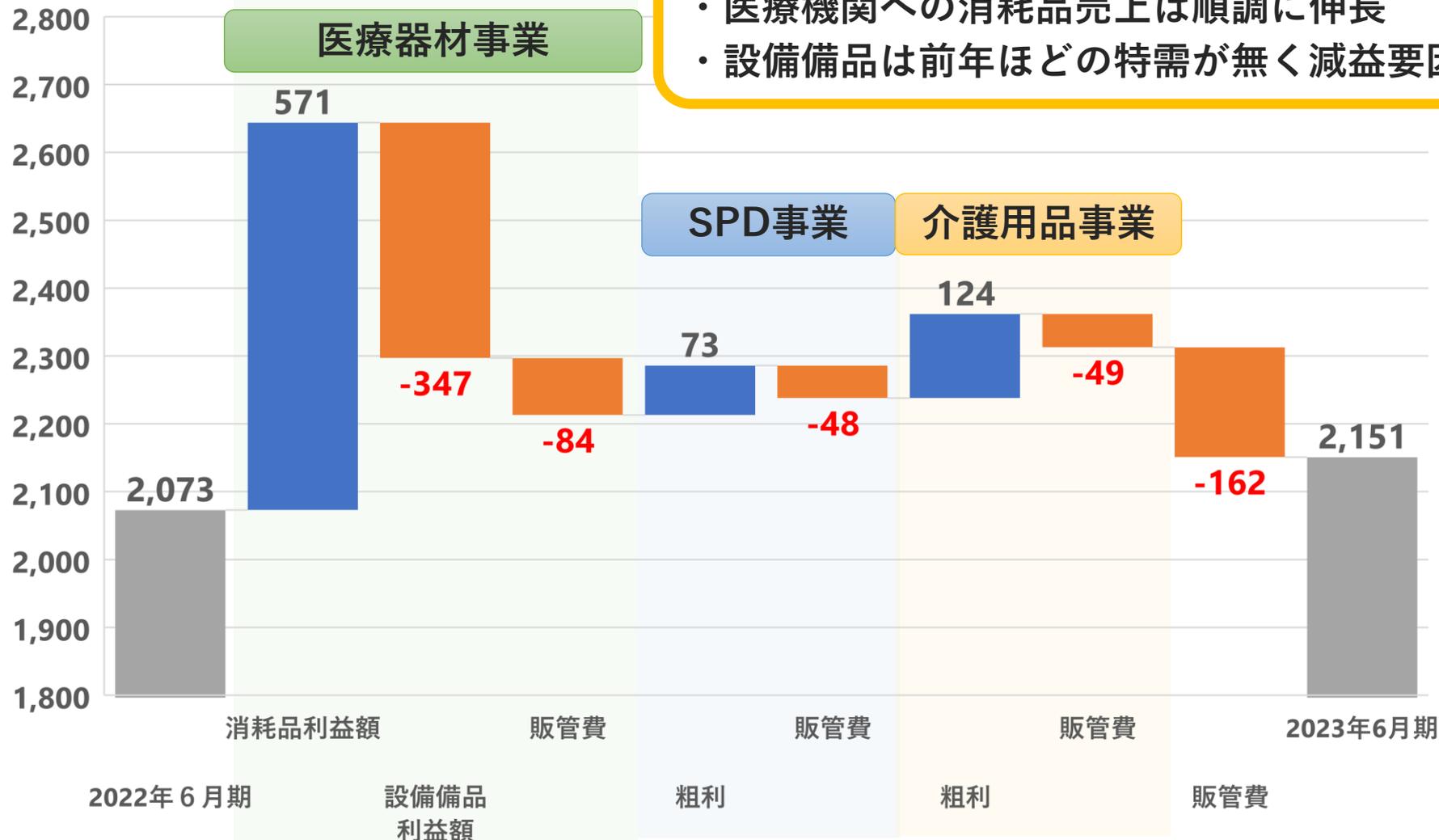


介護用品事業
介護用品のトータルサポート



2023年6月期 営業利益増減要因

(百万円)



【主な増益要因】

- ・ 医療機関への消耗品売上は順調に伸長
- ・ 設備備品は前年ほどの特需が無く減益要因

2024年6月期 通期連結業績予想

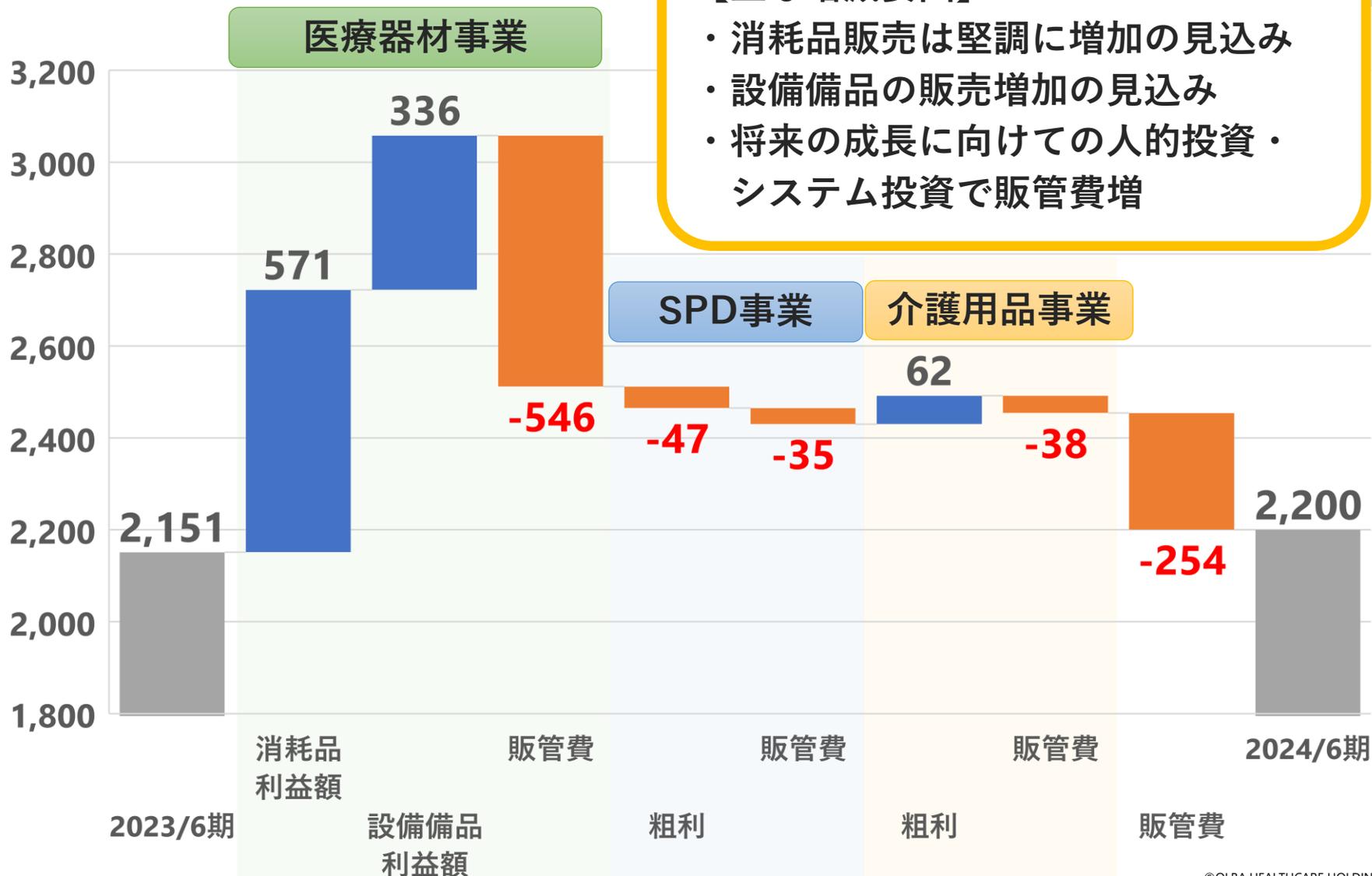
売上高、営業利益、経常利益とも過去最高となる予想

| (百万円) | 予想 | 2023/6実績 | 増減 |
|-----------------|---------|----------|-------|
| 売上高 | 118,386 | 110,472 | +7.2% |
| 売上総利益 | 13,872 | 12,954 | +7.1% |
| 売上総利益率 | 11.72% | 11.73% | △0.01 |
| 販売管理費 | 11,672 | 10,803 | +8.0% |
| 営業利益 | 2,200 | 2,151 | +2.3% |
| 経常利益 | 2,209 | 2,158 | +2.4% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,451 | 1,414 | +2.7% |

1株当たり当期純利益
240.69円

2024年6月期 営業利益増減要因

(百万円)

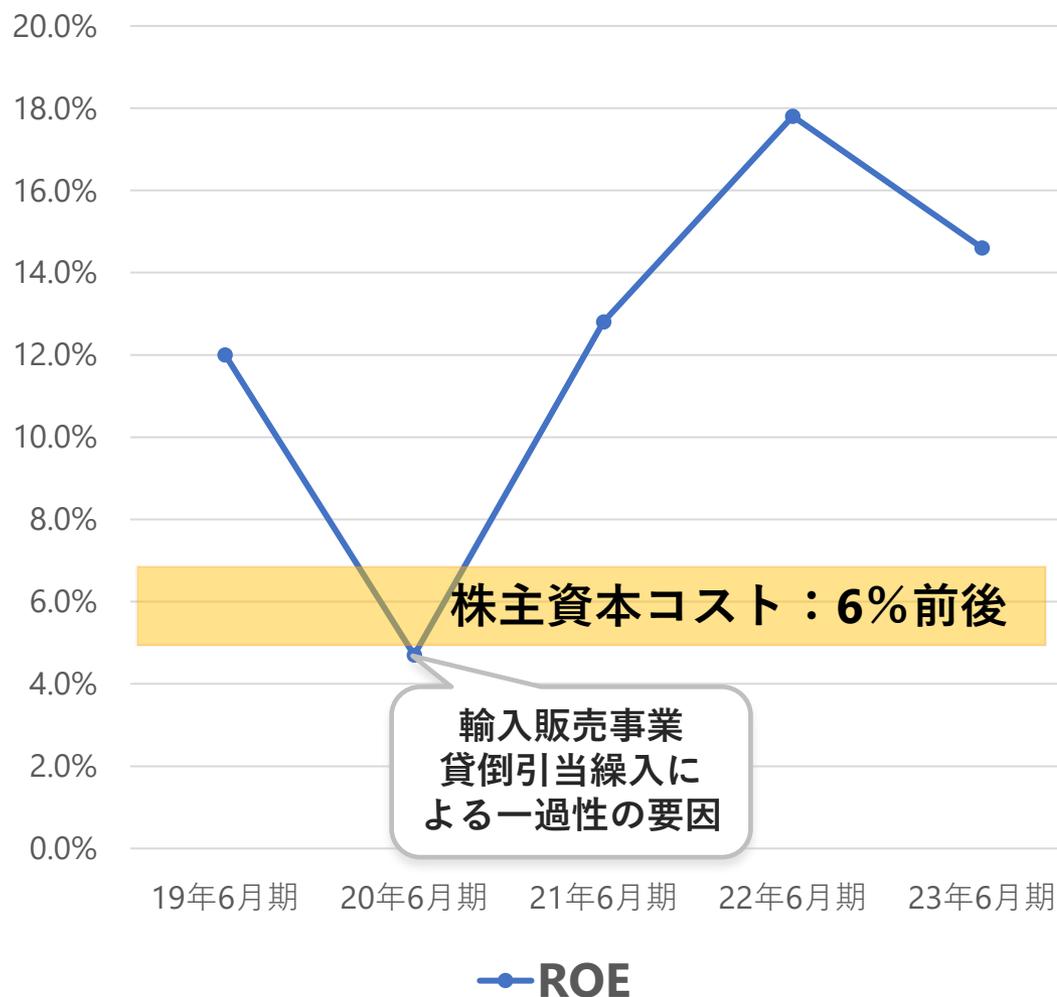


【主な増減要因】

- ・ 消耗品販売は堅調に増加の見込み
- ・ 設備備品の販売増加の見込み
- ・ 将来の成長に向けての人的投資・システム投資で販管費増

資本コスト・資本収益性 現状分析

ROE・株主資本コスト 推移



- **エクイティスプレッド (%)**
(ROE-株主資本コスト)
⇒約6%~7%前後
- 継続的に**資本コストを上回る資本収益性**を達成
- ROEの過去5年単純平均
⇒12.4%
- **中期経営計画**に基づき
成長・発展のための投資を継続

※株主資本コスト算出参考値
リスクフリーレート：10年国債利回り
β値 0.8程度
マーケットリスクプレミアム：7%程度

中期経営計画

2024/6期～2026/6期 中期経営計画のポイント

現業強化・生産性向上

医療器材事業の
仕入交渉力強化

バックオフィス業務の
合理化・効率化

整形外科関連業務の
プロセス再構築

ロジスティクス・イノベーション

新地域・新顧客開拓

業務提携推進

SDGs推進・ESG経営

環境負荷の低減

働き方改革／健康経営

ダイバーシティ促進

コンプライアンス徹底

次の100年に
向けた
基盤づくり

社員憲章の共有による
一体感・事業への共感

新規事業探索・育成

ASEAN事業育成

バークメド事業拡大

医工連携

スタートアップとの連携

OLBA-DX

CRM/SFA/BI構築
電子カタログ機能充実

開発・活用の民主化
(ローコード・ノーコード)

営業活動のDX
(オンライン営業・
インサイドセールス)

Webオーダー活用
(SWORD)

Li-Flo活用

RFID活用

AI活用

2026/6期目標

売上高 **1270** 億円

営業利益 **26** 億円

人材育成：全社員にDXリテラシー教育を実施

動画で学習する
成果を生み出す
DXリテラシー
DXファーストステップコース

動画で学習する
DXリテラシー向上
経産省「DXリテラシー標準」準拠
第1章 デジタル技術の基礎
第2章 Webの基礎技術
第3章 システム開発と情報セキュリティ

動画で学習する
わかる
DXリテラシー
DXファーストステップコース

知識力・思考力・マインドセットを学ぶ講座

↓

全社員のDXリテラシーを底上げ

動画で学習する
わかる
DXリテラシー
DXファーストステップコース

動画で学習する
わかる
DXリテラシー
DXファーストステップコース

新規事業 ~クリニック向けビジネス~

パークメド事業拡大



株式会社 カワニシパークメド



HP用
QRコード

クリニック向け自動精算機販売

①新たなラインナップ

② テマサック Lite

キャッシュレス専用の自動精算機



とまにコロナに立ち向かう
② テマサック



② YouTube第二弾



③ アニメ・マンガ素材作成



2023年6月期導入実績 ... **156**台 (対前期+63台)

累計導入台数 ... **273**台 ※2023年6月末時点



アダムスコーポレーション調査による

合併会社設立（2023年1月26日）

タイの医療機器輸入販売会社タイオルバヘルスケアに出資・事業開始

【2023年1月26日設立記念式典 バンコク】

タイ王国進出の理由

- ・ ASEAN地域の経済的・地理的ハブ機能
- ・ 今後急速な高齢化を見込む
- ・ タイ王国政府が医療産業育成に注力

医療機器の分野で日本とタイの橋渡し

- ・ 医療・介護を取り巻く様々な課題を解決



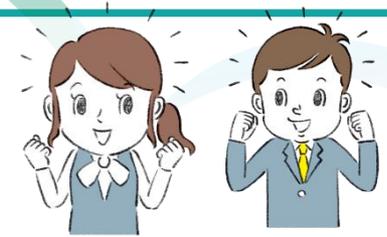
【現地事務所入り口写真】



日本の技術やアイデアを用い、
タイ現地での医療機器生産・メンテナンス体制を構築

ESG基本方針の策定

社員憲章に基づき、ESG基本方針を策定



Environment（環境）

- ・ 環境負荷低減と環境保全に配慮し、持続可能な社会の実現を目指す
⇒ 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量を集計し、環境負荷低減の取り組みを開始

Social（社会）

- ・ 人材ならびに働き方の多様性を目指すとともに、社員が健康でいきいきと働き続けられるよう、働き方改革を推進

Governance（ガバナンス）

- ・ 株主の負託に応え、社員、顧客、取引先、地域住民への責任を果たす
- ・ 経営の透明性、効率性、健全性を確保
- ・ グループの持株会社として、グループの価値向上の実現を図る